

## 令和5年度テクスタ宮城活動方針

### 1 スタートアップの把握

東北大学発等テック系スタートアップ（以下「スタートアップ」という。）について、事務局自らが現状を調査し、共に課題の整理を行い、地域のスタートアップの把握に努める。また、その過程を通じてスタートアップとの信頼関係も構築していく。

加えて、マッチング機能を強化するため、必要な秘密保持策をとった上で情報を共有し、テクスタ宮城内での個々のスタートアップに対する理解度向上を図る。

このため、事務局から随時メルマガを配信し、スタートアップの情報をテクスタ宮城構成員（以下「構成員」という。）に届けるほか、交流会を複数回開催し、直接交流できる機会を設ける。

### 2 マッチング機能の確立

構成員の持つ多種多様な支援策を整理し、1で得られたスタートアップの課題と効果的にマッチングしていく手法を模索していくとともに、マッチング事例を蓄積しながらその確立を目指す。

その際には、スタートアップの県内定着も見据え、特にものづくり企業との連携によるイノベーション創出を進めていく。

また、幹事会において、マッチング手法の検証を行うとともに、支援策や構成員の業種などで不足するものを検討するなど、テクスタ宮城の運営の改善を図る。

### 3 支援策の効果拡大

構成員の実施する支援策が各々単発の効果に止まることのないよう、構成員相互の連携を強化し、各種支援策の効果の最大化を図る。

このため、個々の支援策の認知度向上を図り、活用するスタートアップのすそ野を広げるほか、賞の受賞や補助金の採択を受けるなどしたスタートアップについて、更なる成長が図られるようフォローアップを行う。

加えて、個々のスタートアップの持つ多様な課題に適確に対応するため、必要な資源を持つ複数の構成員でチームを編成し、支援していく手法についても模索していく。

### 4 宮城のプレゼンス向上

1～3によりテクスタ宮城の機能を向上させることを前提に、県内外の構成員の増加に努めるとともに、積極的な情報発信を行うことにより宮城のスタートアップのプレゼンスを向上させ、資金や人材等、成長に必要なリソースが供給され続ける地域を目指す。